

1

次の表に示した県は、海に囲まれていない県です。これらの県に関する、あとの問いに答えなさい。

	面積(km ²)	人口(千人)
長野	13562	2063
岐阜	10621	1997
栃木	6408	1946
群馬	6362	1952
山梨	4465	817
滋賀	4017	1412
(あ)	3798	7330
奈良	3691	1339

人口は2018年10月

『日本国勢図会2019/2020』より作成

問1. 表中(あ)の県について、他と比較した場合、(あ)の県が最も低い数値となるものをア～エより選び、記号で答えなさい。

ア. 15歳未満の人口÷全人口

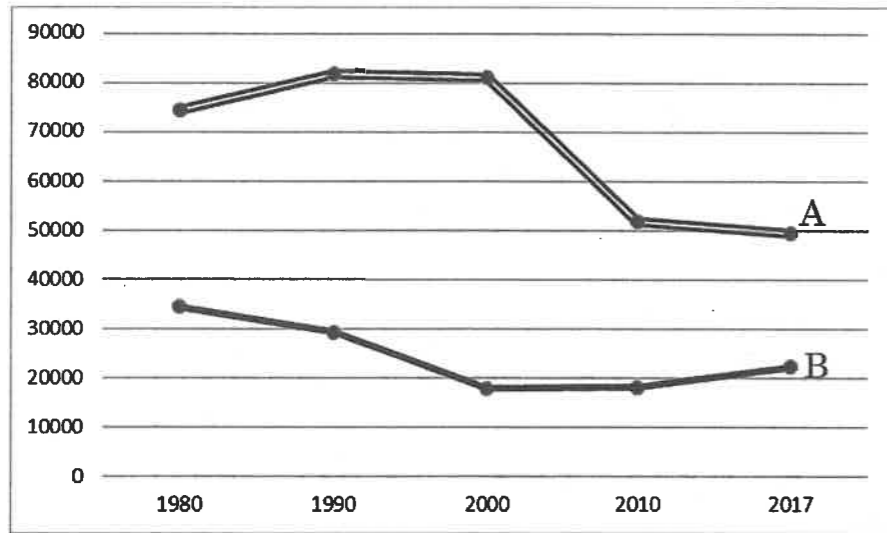
イ. 昼間の人口÷夜間の人口

ウ. 第3次産業に就く人口÷全就業者人口

エ. 2015年の人口÷2010年の人口

問2. 県境に大きな山がある場合があります。八ヶ岳は、どこどここの県の境にありますか。表中の県から2つ答えなさい。

問3. 表中の奈良県は、中南部の吉野地方を中心に林業がさかんです。次の図は、用材(家具や建築物、パルプなどの原料として用いられるもの)の国産材と外国産材の供給量(千m³)について、1980年から2017年までの変化を示したものです。この図に関して説明した文を読み、あとの問いに答えなさい。



『日本国勢図会2019/2020』より作成

折れ線グラフAは(か)材で、Bは(き)材である。この図から、2017年のわが国の用材の自給率は約(く)%であることがわかる。近年は中国などへの(け)が増加し、林業の活性化につながることを期待されている。

(1)(か)(き)に「国産」・「外国産」のどちらかがあてはまります。それぞれ答えなさい。

(2)(く)にあてはまる数字を[]より選んで答えなさい。[15 30 45 60]

(3)(け)にあてはまる語句を答えなさい。

問4. 海に囲まれていない県においても、その土地で受け継がれる伝統工芸品があります。右の伝統工芸品は表中のどこの県のものでしょうか。

問5. 中学1年生の社会科の授業で、内陸地域の工業について、テーマを設定して調べました。多くの人が、あるキーワードが重要であると考えました。次に示したテーマ例の〇〇〇〇が、そのキーワードになります。あてはまる語句を4字で答えなさい。

テーマ例

「〇〇〇〇の整備とその影響」「〇〇〇〇によって拡大した流通網」



問6. 海がなく内陸に位置する県では、地形や気候の特色を生かして果実の生産がさかんです。次の表はいくつかの果実の生産のさかんな上位4県を示したものです。<さ>～<す>にあてはまる果実をア～エより選び、記号で答えなさい。また、(イ)～(ハ)にあてはまる県を前ページの表中から選びなさい。

<さ>	<し>	<す>
(イ)	青森	(ハ)
福岡	(ロ)	(ロ)
熊本	山形	岡山
静岡	岩手	山形

統計は2017年 『データでみる県勢2020』より作成

ア. ぶどう イ. みかん ウ. いちご エ. りんご

2

日本の旅の歴史に関する次の文を読み、あとの問いに答えなさい。

現代において、旅は楽しむものであり、観光という意味が大きいものですが、昔はそうではありませんでした。①3世紀の日本の様子をあらわした『魏志倭人伝』から、旅に出ることは、常に危険をとまなうものであった様子がうかがえます。奈良時代につくられた和歌集『(あ)』の中には、九州の防備にあたった(い)の歌があり、任務として移動する旅もあったことがわかります。平安時代・鎌倉時代には、全国を旅して修行や布教をする僧が現れました。②時宗を開いた一遍などが有名です。

交通施設が整備された江戸時代には、楽しむための旅もさかんになり、皇室の祖先神をまつるとされる(う)への参詣は何度も流行しました。また、3代将軍(え)の時代に制度化された参勤交代は、大名にとって仕事の旅となりました。流れのゆるやかな③川や瀬戸内海、④琵琶湖などでは、船旅も行われたようです。

明治時代には、日本独自の修学旅行も始まり、鉄道が開通すると、⑤遠くへの旅行を実施する学校も多くなりました。第二次世界大戦後には、⑥新幹線などの開通で、より移動が便利になりました。第二次世界大戦中に一時中止された修学旅行も、現在では学校の教育活動の一つとして位置づけられています。中学生の主な行き先は⑦金閣、⑧二条城、法隆寺、広島・長崎の⑨原爆資料館、⑩沖縄で、歴史学習や平和学習に重点を置く学校が多いようです。

問1. 文中の(あ)～(え)にあてはまる語句や人名を答えなさい。

問2. 下線部①についての文として正しいものを、次から1つ選び、記号で答えなさい。

ア. 縄目の模様をつけた土器を使用して、木の実などを煮炊きして食べていた。

イ. 打製石器を使用して、狩りや採集をしながら、移動生活を送っていた。

ウ. 渡来人によってもたらされた土師器を祭りの道具として使用していた。

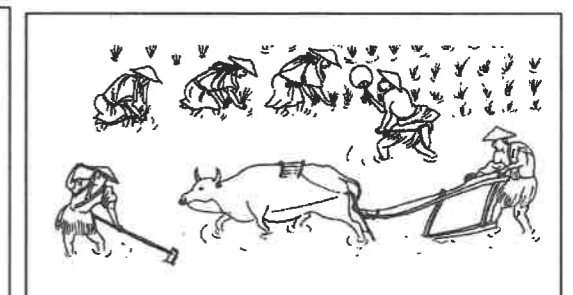
エ. 鉄製の刃をつけた農具を用いて稲作を行い、収穫物は高床倉庫に貯蔵していた。

問3. 下線部②について、資料Aは『一遍上人絵伝』の一部で、鎌倉時代の商業の様子を示しています。この時代の商業の変化について、資料Bをふまえて説明しなさい。

資料A



資料B

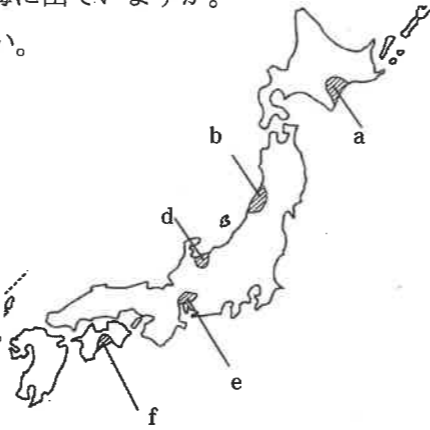


問4. 下線部③について、次のX・Yの河川はそれぞれ何という平野を流れて海に出ていますか。また、その平野の位置を右の地図中より選び、それぞれ記号で答えなさい。

X. 木曾川 Y. 最上川

問5. 下線部④について、

- (1)かつて、琵琶湖のある滋賀県は「近江国」、浜名湖がある静岡県は「遠江国」と呼ばれていました。この呼び方が8世紀ごろに定められたとすると、「近」「遠」とはどこからの距離をいいますか。
 (2)琵琶湖は、水鳥の住む場所としての自然環境を保護する条約の登録地です。日本が1980年に加盟したこの条約を答えなさい。

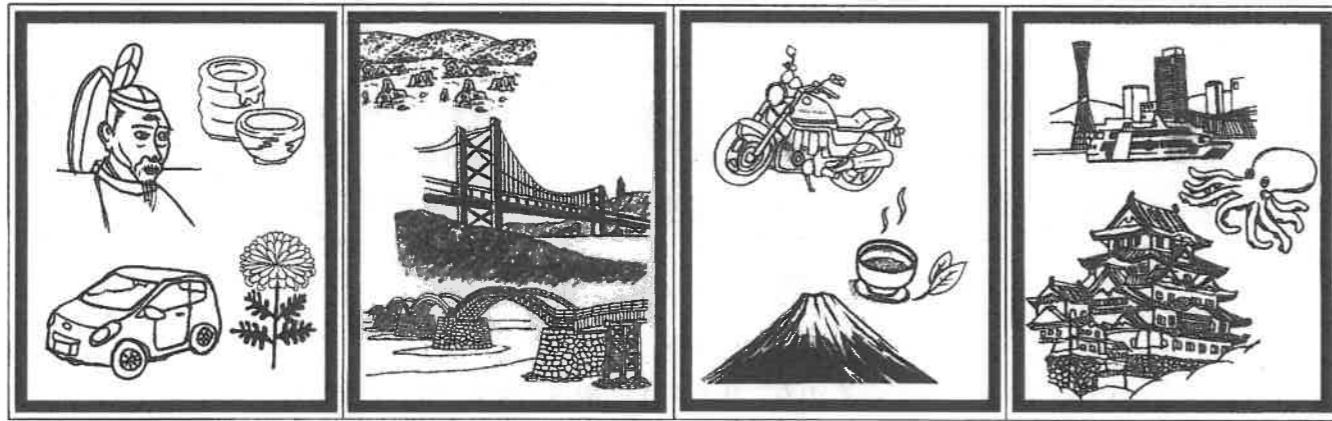


問6. 下線部⑤について、第二次世界大戦前は、中国の遼東半島にある軍施設を見学する学校もありました。この見学地への旅行が行われるようになったのは、どの時期からと考えられますか。1つ選び、記号で答えなさい。

ア. 日清戦争以降 イ. 日露戦争以降 ウ. 第一次世界大戦以降 エ. 日中戦争以降

問7. 下線部⑥について、次のア～エは、東海道・山陽新幹線が通過する都道府県の特徴を描いたかるたの札です。福岡から東京に向かう場合、通過する順に札をならべかえ、記号で答えなさい。

ア イ ウ エ



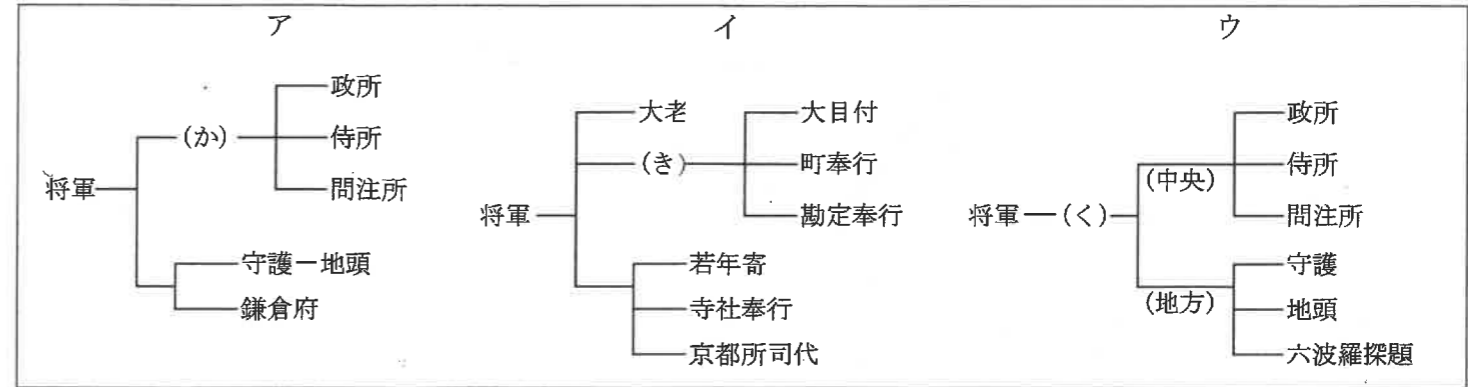
問8. 下線部⑦を建てた人物が行ったこととしてまちがっているものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 吉野の南朝側と交渉して南北朝の合体を行った。
 イ. 中国と、勘合という合い札を使用した貿易を始めた。
 ウ. 観阿弥・世阿弥によって完成した能を保護した。
 エ. 公平な裁判を行うために初めての武家法を制定した。

問9. 下線部⑧は、徳川慶喜が政権を天皇に返した場所でもあります。

- (1)この出来事を何といいますか。
 (2)(1)と、次にあげた出来事を年代順にならべると(1)は何番目になりますか。数字で答えなさい。
 戊辰戦争 桜田門外の変 薩長同盟

(3)この出来事によって幕府政治は終わりをづけました。次のア～ウの図は鎌倉幕府・室町幕府・江戸幕府のしくみと役職をあらわしたものです。鎌倉幕府のしくみをあらわしたものはどれですか。ア～ウより記号で答えなさい。また、表中の(か)～(く)にあてはまる役職名をそれぞれ答えなさい。



問10. 下線部⑨に関連して、日本は第二次世界大戦中の1945年に世界ではじめて原子爆弾が投下された国です。第二次世界大戦後、核軍縮の取り組みが行われてきましたが、核兵器の廃絶にはまだいたっていません。第二次世界大戦後の核兵器に関する文としてまちがっているものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 1950年代に、アメリカの水爆実験で日本の漁船が被害にあう事件がおきた。
 イ. 1990年代に、あらゆる場所での核実験を禁止する条約が国連総会で採択された。
 ウ. アメリカのオバマ大統領が、『核なき世界』を目指すという演説を行った。
 エ. 北朝鮮は、核拡散防止条約から脱退したが、まだ核実験は行っていない。

問11. 下線部⑩について、1853年、アメリカの艦隊を率いて日本へ行く途中、那覇に寄港した人物はだれですか。

3 お金と経済に関する次の文を読み、あとの問いに答えなさい。

経済のなかで①お金はさまざまな役割を果たしており、②政府も企業も③家計も、お金を使って経済活動をおこなっています。

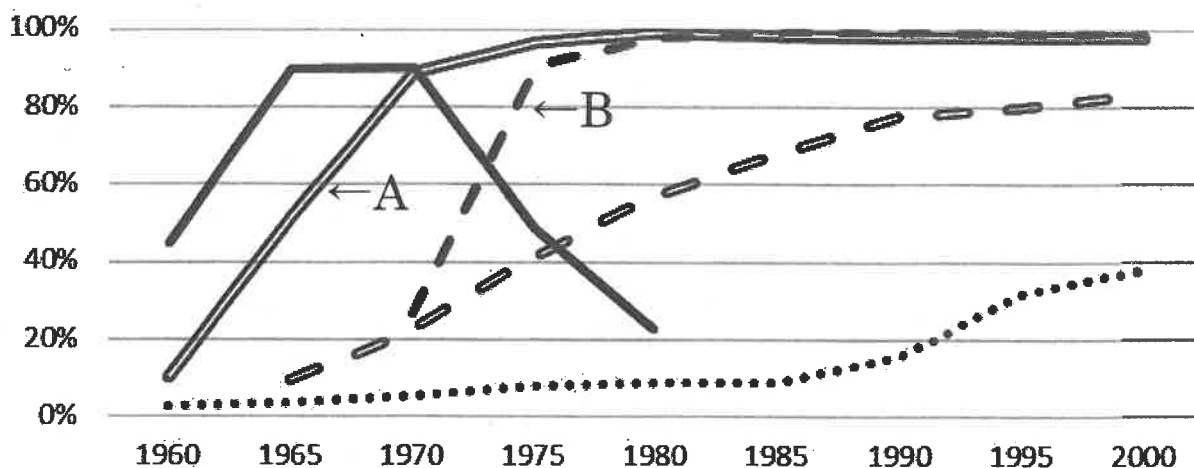
約30年前にバブル経済が崩壊してから、日本の経済は停滞を続けました。2010年ごろから④税収は増えてきましたが、社会の変化を背景に⑤歳出も増えています。いまの日本では、こうした財政の問題や将来の⑥生活への不安から、⑦老後に備えてお金を使わず貯蓄する人も多いといわれています。

問1. 下線部⑪について、昨年4月、新しい図柄の紙幣が2024年に発行されることが発表されました。一万円札の図柄に選ばれた明治・大正時代の実業家の名前を答えなさい。

問2. 下線部⑫について、

- (1)次のうち、内閣の仕事にあてはまるものを1つ選び、記号で答えなさい。
 ア. 予算案を審議し予算を決定する イ. 外国の政府と条約を結ぶ ウ. 不適切な裁判官をさばく
 エ. 憲法改正を発議する オ. 国政に関する調査をおこなう
 (2)内閣の助言と承認のもと、日本国の「あ」である天皇は、儀礼的な行為をおこなうと憲法で定められています。「あ」にあてはまる語句を答え、儀礼的な行為にあてはまらないものを次から1つ選び、記号で答えなさい。
 ア. 国会の召集 イ. 法律や条約の公布 ウ. 衆議院の解散 エ. 最高裁判所長官の指名

問3. 下線部③に関連して、高度経済成長以降、家庭生活の様子は大きく変わり、さまざまな電化製品などが普及しました。5つの製品の普及率を示した次のグラフを見て、A・Bにあてはまるものをそれぞれ選び、記号で答えなさい。



(内閣府 消費動向調査より作成)

- ア. カラーテレビ イ. 白黒テレビ ウ. ビデオカメラ
エ. 乗用車 オ. 電気冷蔵庫

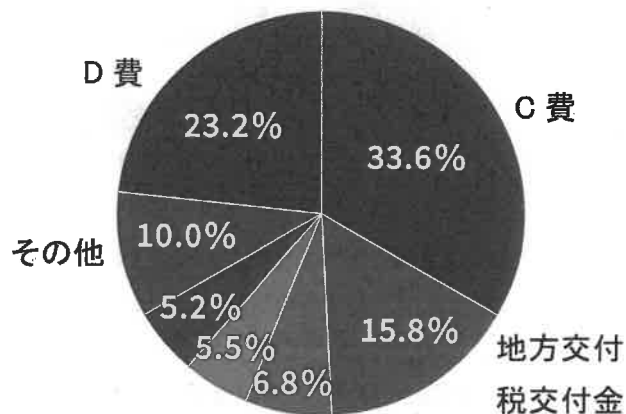
問4. 下線部④に関連して、

(1)2019年10月に税率の引き上げがおこなわれた消費税は、間接税の1つです。間接税とはどのような税ですか。解答らんに合わせて、15字以内で説明しなさい。

(2)次のうち、国に納める間接税にあたるものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 所得税 イ. 住民税 ウ. 法人税
エ. 酒税 オ. 自動車税

問5. 下線部⑤について、右のグラフは、国の一般会計予算(2019年度)の歳出の内訳(割合)を示したものです。C費の額は、社会の変化にともなって30年前の約3倍になっています。また、D費の割合が増加すると、国がさまざまな政策を実施するためのお金が減ることになります。グラフ中のC・Dにあてはまる語句をア～オよりそれぞれ選び、記号で答えなさい。



- ア. 文教・科学振興 イ. 防衛 ウ. 社会保障
エ. 国債 オ. 公共事業

問6. 下線部⑥に関連して、日本国憲法第25条は「すべて国民は、の生活を営む権利を有する」と定めています。にあてはまる語句を11字で答えなさい。

問7. 下線部⑦について、2019年6月、金融庁は、老後の生活に必要な資金はだけでは足りないとの報告書を発表しました。老齢は、原則として歳から受け取ることができますが、希望者は、受給開始年齢を遅らせる代わりに、支給額を増やすことができます。・にあてはまる語句・数字を答えなさい。

